



広報

うけん



2011.3

MAR.

Vol.292

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2 成人式・消防出初式
- P 3 FMうけん開局一周年
- P 4～7 むらの話題
- P 8～13 お知らせ
- P 14 村民のうごき



田検集落の山中にある桜木が真っ白な花を咲かせた（写真撮影＝3月7日）

エフエムうけん開局1周年

1年を振り返り、気持ちを新たに！

一月四日に開局一周年を迎えたコミュニティラジオ「エフエムうけん」が三十日に村元気の出る館大ホールにて一周年記念式典を行い、NPO法人「エフエムうけん」の会員やボランティアスタッフ、村区長会、あまみエフエムの関係者など約八十名が出席し、盛大に開催されました。

式典では開局までの経過と番組制作など一年間の取り組みを振り返ると共に、一月四日に開局一周年を迎えたコミュニティラジオ「エフエムうけん」が三十日に村元気の出る館大ホールにて一周年記念式典を行い、NPO法人「エフエムうけん」の会員やボランティアスタッフ、村区長会、あまみエフエムの関係者など約八十名が出席し、盛大に開催されました。

スタッフと会員の方々の交流などが行われました。同NPO法人の屋宮喜治理事長は「これからも防災に役立てると共に、多くの村民に出演してもらおうことを目指したい。」などあいさつを述べました。



▲ 式典の最後に「I LOVE 宇検村」を合唱



▲ 三味線塾メンバーによる島唄の披露



▲ お祝いに駆けつけたあまみエフエムの皆さん



▲ 家族で自主番組を制作している後藤家（阿室）の皆さん

▲ 式典であいさつを述べた屋宮 喜治理事長

▲ スタッフ、会員、関係者が一同に集まった記念式典

▲ スタッフの重野 隼人さんの音頭による万歳三唱

石野田 奈津代さんも駆けつけてくれました♪



▲ スタジオでの公開収録の様子

開局一周年の記念式典にはシンガーソングライター石野田 奈津代さんも駆けつけてくれました。石野田さんは平成二十一年に本村の久志小中学校の児童生徒と、宇検村を題材にした曲「I LOVE 宇検村」を制作、同曲が「エフエムうけん」のテーマソングにもなっています。式典当日の三十日昼には、スタジオで公開収録を行い、リスナーと楽しみながら番組を作りました。式典では最後に、出席者全員と「I LOVE 宇検村」を熱唱してくれました。

エフエムうけん開局1年、おめでとうございます！
昨年4月から始まった私の番組も、もうすぐ1周年！
これまで「しいたけプレゼント」や「公開収録」を行いました、これからもリスナーのみなさんに喜んでもらえるような企画を考えて、宇検村のみなさんと番組を盛り上げていけるよう頑張ります！！
これからも多くの方に愛されるエフエムうけんでありたいように！

なっちゃんから
メッセージ



平成23年宇検村成人式

新成人13名が大人として新たな出発！

平成二十三年宇検村成人式が一月四日に村元気の出る館であり、本村では十八名の該当者のうち十三名の新成人者が出席し、盛大に祝いました。式では、新成人者全員による「村民憲章」並びに「私たちの誓い」の朗読がされ、多くの来賓の方々からお祝いの言葉が述べられました。

余興では、村連合青年団が編集した、新成人者の幼少期からの写真集を大型スクリーンで放映したほか、新成人者一人一人が将来の夢や親への感謝の言葉などを語ってくれました。代表謝辞では石良の秋山利希斗さんが「何事にも挑戦し、全力を尽くします。」などと力強く述べました。



▲ 恩師の先生方と一緒に記念撮影



▲ マイクを手に将来の夢などを語る新成人者。全員が感謝の言葉や夢についてそれぞれの思いを語ってくれました。



▲ 式典後は和やかな雰囲気と思い出話を花を咲かせたり、久しぶりに会った仲間や家族と一緒に写真撮影を楽しんでいました。



平成23年宇検村消防出初式

消防団員 総勢80名が集合！

村内の各消防団が一同に集まり、一月六日に平成二十三年宇検村消防出初式が行われました。当日は激しい雨の降る天候となり、当初予定していた陸上競技場でのパレードや消防操法、通常点検などが中止となりました。会場を元気の出る館へ移し、海洋少年団の児童による手旗信号の実演や、十六名の団員へ三十年勤続章などの表彰が行われました。



▲ 頼もしい姿を見せる消防団員の皆さん



▲ 海洋少年団のテキパキとした手旗信号のようす ▲ 30年勤続章を受賞された政 忠宏宇検分団長



開運杯中学女子バレー大会

1月22日、23日に第5回奄美大島開運酒造杯中学女子バレーボール大会【(株)奄美大島開運酒造 主催】が開催されました。

今大会は、民間と地域が一体となって地域の子ども達の健全育成を図ることなどを目的に行われており、今年は奄美大島内の10チームが出場し、2日間にわたり熱戦を繰り広げました。

23日の最終日は村総合体育館で順位決定リーグが行われ、1位リーグでは朝日中が赤木名中、名瀬中をストレートで下し、見事に大会3連覇を達成しました。本村から出場した田検中は2位リーグへ出場しましたが、金久中、龍南中に敗れ6位の成績でした。

大会では選手たちの元気で一生懸命なプレーに対し、応援席からたくさんの声援を送る保護者や村民の方々の姿を見ることが出来ました。尚、個人賞は下記の通りとなっています。
【個人賞】大会会長賞=萩原 楓月さん(朝日中) / 敢闘賞=栄 望美さん(赤木名中)、藤 優さん(田検中) / リベロ賞=岡村 留利子さん(朝日中)



また、会場では茶道教室の受講生が実演を行ったほか、生け花やパッチワーク、短歌教室の作品が展示されました。



大会へは村内で合宿中だった東北福祉大学陸上部の学生も参加し、十ヶコースへ出場した村民と併走するなど、一緒に爽やかな汗を流しました。また、会場ではバザーもあり参加者を楽しませてくれました。

公民館講座の閉講式 学習の成果を披露

村公民館講座の合同閉講式が三月五日に元気の出る館で行われました。平成二十二年度は十七講座が開かれ、修了した受講生は二二二名となりました。

学習発表では、各教室の受講生の方々が日頃の学習の成果を一生懸命に披露し、島唄や舞踊、フラダンスなど多彩なプログラムで観客を楽しませてくれました。

完走歩大会を開催 各コースを楽しむ

第十三回村健康づくり完走歩大会が三月六日、陸上競技場を発着点に開催されました。

三、五、十ヶの三コースへ約三百名の方が参加し、各コースをそれぞれのペースで楽しみました。

大会へは村内で合宿中だった東北福祉大学陸上部の学生も参加し、十ヶコースへ出場した村民と併走するなど、一緒に爽やかな汗を流しました。また、会場ではバザーもあり参加者を楽しませてくれました。



*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにもあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎0997-67-2211

やけうち短歌会が歌集を発刊

～短歌会の発足3周年を迎え～



本村のやけうち短歌会(大島 安徳 代表)が発足して3周年を迎え、記念の合同歌集「やけうち」を発刊しました。

同短歌会は平成19年7月に村の公民館講座として発足され、村外の出身者や小中学生も参加し、幅広い年代で会員を構成しています。

毎月2回の短歌教室(例会)で研修を深めると共に、地元新聞への作品投稿や村の文化祭などで作品の展示を行っています。また、平成21年3月には県奄美パーク・田中一村記念美術館で短歌の展示会を開催し、「エフエムうけん」では会員の作品を紹介するなど積極的な活動を展開しています。

合同歌集は、A5版490ページに同短歌会の活動を紹介する写真集や会員が3年間で詠んだ全ての歌3,000首余りなどが掲載されており、短歌への熱い思いが詰まっています。



久志校が創作劇を学ぶ

～オリジナル創作劇「ケンムンの1日」完成～



「ケンムンの1日」という題で短時間の間に創作劇を作り上げる児童生徒

12月20日に久志小中学校で「子どものための優れた舞台芸術体験」が行われました。

これは劇の創作を通じて、子ども達の感受性や表現力を育むことなどを目的に文化庁が行っている事業で、同校は総合的な学習の時間を活用し、今年度最後となる3回目のワークショップを実施しました。

劇作家の長谷 基弘さんを含む3人の講師陣のもと、児童生徒が2班に分かれ協力しながら、オリジナル創作劇「ケンムンの1日」を創りました。

子ども達が話し合い、試行錯誤しながら劇の創作を進め、最後は分かれた2班による東ケンムン村と西ケンムン村によるオリジナル劇の発表をしました。児童生徒は「表現力が豊かになった。来年の文化祭に活かしたい。」などと話してくれました。



田検・久志中学男子バレー部



『県下中学新人バレー』と『鹿児島・宮崎対県中学バレー』で優勝
強く、たくましい9人の選手
 さらに上を目指して日々の練習に励む



本村の田検中八人と久志中一人で構成する田検・久志中学男子バレーボール部が、一月に開催された『県下中学新人バレー大会』と三月に開催された『鹿児島・宮崎対県中学バレー大会』の二大会で見事に優勝を飾りました。

一月二十九日～三十一日に始良市で行われた『第三十回県下中学新人バレー大会』では、全試合ともストリート勝ちで制し、鹿児島県の頂点に立ちました。

また、三月五日～六日に宮崎県で行われた『第十回鹿児島・宮崎対県中学バレー大会』でも、両県から八チーム合計十六チームの強豪校が出場する中で、見事に優勝を果たしました。

打点の高い攻撃力と粘り強いレシーブを武器に大きな大会を勝ち進んできた同チームは、さらに上を目指し練習に励んでいます。

元田新村政スタート 『村民全員参加の村おこし』を目指して!



元田村長は訓示で「村民のため職員それぞれの役割を一生懸命頑張ってもらいたい。私もその先頭に立ち、身を粉にして働きたい。」などと語りました。



花束を手に職員らの歓迎を受けながら初登庁する元田 信有 村長(1月25日)

村長選挙投票結果

当権日者	有数	1,710
投票総	投票者数	1,649
	無効票数	12
	投票率(%)	96.43
	前回投票率(%)	96.56

当	元田 信有 (無新)	841 票
次	國馬 和範 (無現)	796 票

【16日午後8時45分選管確定】

任期満了に伴う字検村長選挙が一月十一日告示、同十六日に投票が行われ、即日開票の結果、元田 信有氏(60)が初当選を果たしました。

今回の選挙は元田氏の他に前村長の國馬 和範氏(58)が出馬し、告示と同時に両立候補者は、一斉に街宣活動を始め、支持者獲得のため、村内をくまなく巡回し精力的な運動を繰り広げました。

元田氏は「安心して暮らせる安らぎの村づくり、産業の振興、心豊かな教育、近隣市町村と連携した地域活性化」などを公約に掲げました。

開票作業は午後八時から元気の出る館で大勢の支持者が見守るなか行われ、票の仕分け作業も順調に進み、午後八時四十五分には最終確定が出され、元田氏が八四一票、國馬氏が七九六票で、元田氏の初当選が決定しました。

十二日から四日間行われた期日前投票は前回を二〇ポイント以上も上回る五八・三〇%に達し、最終的な投票率は過去最高の前回選に迫る九六・四三%となり村民の関心の高さをうかがわせました。

元田氏は「村民の過半数の支持を受けました。引き続き、村政の刷新と、村民の生活の向上に努めます。」と述べ、今後の村政運営について話した。

果物のビワに似た 珍しいタンカンを発見!



去る三月四日に「昔検の畑で珍しいタンカン」を収穫した」という情報が入りました。

情報提供者の働いている職場へ駆けつけると、今まで見たこともない果物のビワに似た細長いタンカンがありました。

その場で二等分にカットし中身を確認すると、房が二つ綺麗に寄り添って並んでいました。

情報提供者は「毎年タンカン」を収穫しているが初めての体験だ。」と話してくれました。

村の農政担当は『枝変わり』という突然変異の現象である可能性が高いと説明してくれました。

3月11日に東日本で巨大地震が発生、津波被害が拡大



災害対策本部のようす

三月十一日午後二時四十六分に三陸沖を震源とする大地震が発生し、地震に伴う津波が東北地方などを襲い、大きな被害を出しています。

地震発生当日、本村では気象庁の奄美大島全域への津波警報発令を受けて、午後四時二十五分に村内全世帯へ避難勧告を行いました。村内の各学校や公民館、高台などへ四九九名の村民の方が避難をしました。

村では募金箱を村内三箇所(役場・社会福祉協議会・元気の出る館)へ設置し、義援金を募っていますので、皆さまのご協力をお願いします。